

# ⑥ 港北区地区カルテを作つて

中野俊明

## 一——調査の目的

港北区では、昭和五十六年に市民向けの地区カルテを作成したが、既に十年が経過し内容も古くなっており、更新する必要があった。

そこで、改めて最新の情報を収集・整理した上で、既存の行政区域にとらわれず、港北区周辺区域も含めて検討し、区民の日常行動範囲に即した地区区分を設定することにより、地域の現状と課題が明確になるような地区カルテの作成を試みた。また、「市民利用施設に関するアンケート」を並行して行うことにより、このカルテが、「よこはま二十一世紀プラン」に掲げられている、市民利用施設の内容と配置についても検討できる基礎データとして活用することも目指した。

## 二——調査の成果

今回の地区カルテ作成に当たっては、地区レベルで現状と課題を把握するが出来たことと、「市民利用施設に関するアンケート」により市民の意見が聞けたことが、成果といえる。

### ① 地区区分の設定による地区カルテ作成

### ⑦ 地区区分の設定

既存の地区区分は、港北区総合整備計画基本調査ゾーン区分別将来像、よこはま二十一世紀プラン港北区計画区分をはじめ、日常利用圏、連合町内会区域、学区、大都市交通センサスのゾーン区分、パースントリップ調査のゾーン区分等四区分から十四区分まで実にさまざまな区分が行われている。今回は、これらの区分も参考にしながら、生活行動エリアという観点から、次のように考えて地区区分を設定した。

- ・ 鉄道の各駅を中心とするゾーンで区分
- ・ 区民が生活行動する概ね徒歩圏で区分
- ・ 地形の起伏や土地利用などの性格上の違いで

- 一——調査の目的
- 二——調査の成果
- 三——事業・施策とのつながり
- 四——調査の課題

## 区分

・ 地域のまとまりで区分  
以上の考え方を基準に、また人口等の統計データを扱う便宜上、町丁界に従って、港北区を、十二地区に区分した(図-1)。

図-1 地区区分設定

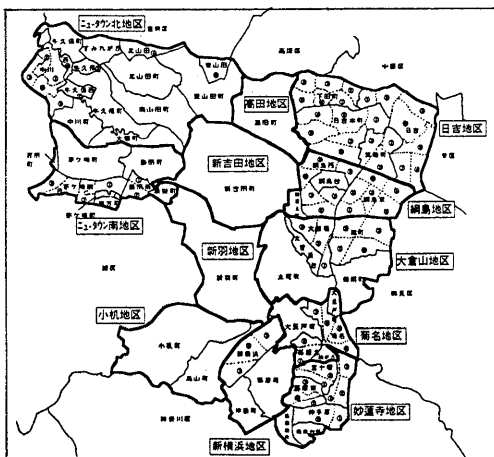


表-1 現況シートの項目

基礎的指標	対象町丁	面積
	人口等	人口 人口増減 世帯数 世帯人数 年齢構成
	土地利用	
産業	工業	工場数 工場密度 従業者数 主要業種
	商業	業種構成 小売店舗密度 小売店売場面積 年間販売額 1店当たり販売額
	農業	市民菜園 市街化区域内の集团的農地(1ha以上)
交通	鉄道・バス	駅名 年間乗降客数 鉄道の将来構想 自転車駐車場 放置自転車等 バスルート
	道路網	都市計画道路 地区の主要道路
市民利用施設	地区センター・文化施設・図書館 スポーツ施設・公園緑地等 医療・福祉施設等 行政サービス関連施設 学校区等	
21プランのプロジェクト及び関連プロジェクト アメニティ資源等		

①地区カルテの作成による現状把握  
区内十二地区ごとに、次の四つのシートでまとめ、地域の現況と課題を明確にした。  
①地区の現況シート  
人口・土地利用といった基礎的指標、産業、交通、市民利用施設、横浜二十一世紀プランの

プロジェクト動向及び関連プロジェクトの動向、アメニティ資源等現況と動向についてデータなどで整理し枠でまとめた(表-1、図-2)。  
②地区の施設等現況図  
各地区の市民利用施設等の分布状況と地区の土地利用の特徴を図面で表し整理した(表-2、

図-3)。  
③地区の課題図  
土地利用、交通、市民利用施設、景観等地区における課題、都市計画道路整備状況をよこはま二十一世紀プランのプロジェクトの上に重ねて見ることができるようにした(表-3、図-4)。  
④アンケート結果にみる地区の特徴

表-2 施設等現況図の凡例

公共等の市民利用施設
公共の小中学校
公園 緑道・スポーツ施設等
児童公園 こどもの遊び場
高校 大学 私立の小中学校
幼稚園 保育園
大規模小売店
大規模な工場 研究所
市民菜園
神社 仏閣等
その他の市民利用施設等

表-3 地区課題図の凡例

土地利用の課題等
交通上の課題等
市民利用施設の課題等
景観上の課題等
その他の課題等
21プランのプロジェクト
都市計画道路整備状況

図-2 地区の現状シート

目玉地区の地区カルテ		交通	
<p><b>概要</b> 町丁(丁目)下町(丁目)市街地(丁目) 面積(㎡) 1,066,000 (11.6%)</p> <p><b>人口</b> 総人口 20,290人 人口密度 19.0人/㎡ 55歳以下 5,066人(25.0%)</p> <p><b>世帯</b> 総世帯数 7,000世帯 世帯人口 20,290人 平均世帯員数 2.91人</p> <p><b>人口構成</b> 15歳未満 10,100人(50.0%) 15歳以上 10,190人(50.0%)</p> <p>15歳未満人口が10,100人で、15歳以上人口が10,190人で、男女別人口構成は、15歳未満人口が5,050人、15歳以上人口が5,140人である。</p> <p>15歳未満人口が10,100人で、15歳以上人口が10,190人で、男女別人口構成は、15歳未満人口が5,050人、15歳以上人口が5,140人である。</p>	<p><b>交通</b> 道路 国道4号線(日吉-高津-青丘-下町方面) 市道 日吉-高津線(日吉-高津方面) 日吉-高津線(日吉-高津方面) 日吉-高津線(日吉-高津方面)</p> <p><b>公共交通</b> 日吉駅 日吉駅 日吉駅 日吉駅</p> <p><b>バス</b> 日吉駅 日吉駅 日吉駅 日吉駅</p> <p><b>自転車</b> 日吉駅 日吉駅 日吉駅 日吉駅</p> <p><b>徒歩</b> 日吉駅 日吉駅 日吉駅 日吉駅</p>	<p><b>土地利用</b> 住宅地 商業地 工業地 公共施設</p> <p><b>施設</b> 日吉駅 日吉駅 日吉駅 日吉駅</p> <p><b>学校</b> 日吉小学校 日吉小学校 日吉小学校 日吉小学校</p> <p><b>公園</b> 日吉公園 日吉公園 日吉公園 日吉公園</p> <p><b>その他</b> 日吉駅 日吉駅 日吉駅 日吉駅</p>	<p><b>特徴</b> 日吉地区は、日吉駅を中心とした、日吉-高津線沿線の住宅地である。</p> <p><b>課題</b> 日吉地区は、日吉駅を中心とした、日吉-高津線沿線の住宅地である。</p> <p><b>施策</b> 日吉地区は、日吉駅を中心とした、日吉-高津線沿線の住宅地である。</p>

図-3 地区の施設等現況図

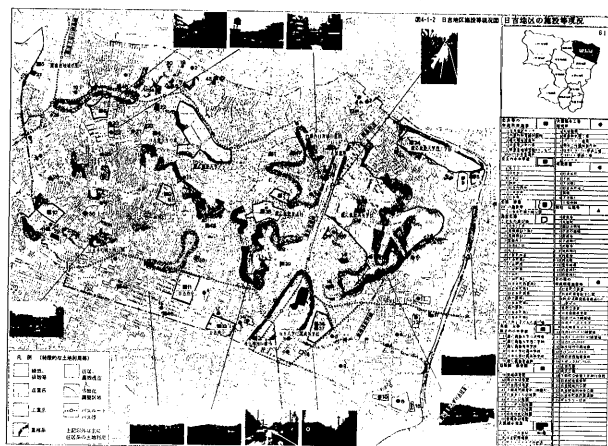
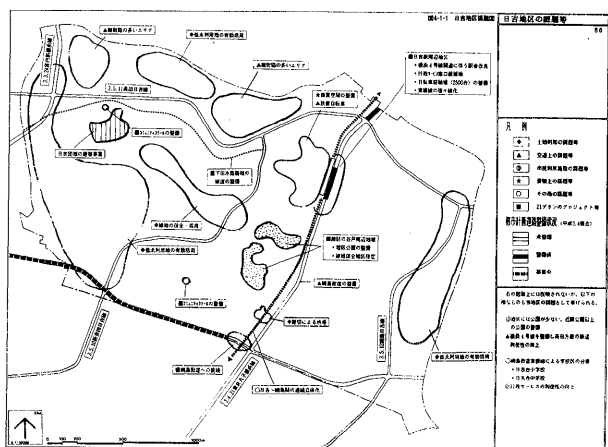


図-4 地区の課題図



「市民利用施設に関するアンケート」結果から読み取れる地区ごとの特徴をつかみ整理した。

① 日吉地区の地区カルテ

以上の整理により、地区カルテを作成した。

日吉地区の例を紹介する。

① 地区の現況シート

人口等では「区内で最も人口が多く、また人口密度も第二位と高い地区」である。特に東横線西側への人口の集中度が高い。また、人口増減率は近年では著しい伸びではなく漸増傾向にあり、

住居系市街地として成熟している地区であるといえる。」(図-2)

② 地区の課題図

土地利用の課題では「低未利用地の有効活用、踏切による渋滞、緑地の保全・活用」、交通上の課題では「放置自転車、細街路の多いエリア、綱島街道の整備」、市民利用施設の課題では「公園が少ない。近隣公園以上の公園の整備」、その他の課題では「綱島街道・東横線による学区区画の分断」といった具合である(図-4)。

③ アンケート結果にみる地区の特徴

「属性」のうち職業では、勤め人全日Vが多く、自営業は港北区の平均を下回る。「生活環境の満足度」では満足度の高いものは、まわり静か、電車・バス、日常の買物、金融機関、郵便局、小学校。満足度の低いものは、まちなみ、生活道路、幹線道路、保健所、消防署、警察署、児童公園があげられている。

④ 「市民利用施設に関するアンケート」結果

区内在住十五歳以上の男女二千人を対象に、郵送により市民利用施設に関するアンケート調査を実施した(回収率五三・七%)。調査内容は、生活環境、日常の行動、市民利用施設、今後望む施設・サービスであった(表14)。

#### ⑦市民利用施設について

いずれの施設についても、自分の住んでいる地区にある施設を利用する人が多いが、施設がない場合は他地区(区外も含む)の施設を利用している。また、施設が身近なところにありながら、行政のPRが足りないためか、知らないという人も多い。

自由意見としては、①利用時間を延長してほしい。②利用上の制限が多い。気軽に使えるように。③各種教室の申し込みがすぐに定員になってしまう。④図書館の蔵書を増やしてほしい。⑤公園は無機的なものが多すぎる。⑥各施設に向かうバス等の交通の便を確保してほしい。⑦駐車場を確保してほしい。⑧PR不足、もっと分かりやすい情報がほしい。名前は知っていても行き方、場所が分からない。

等生々しい意見が寄せられた。

#### ④今後望む施設、サービス

##### ①文化活動

・発表施設・練習施設よりも、鑑賞施設の要望が強い。

・「民間の役割に期待」も二割あり、文化活動については、公共と民間が役割分担して、結果的に質の高いものを希望している。

#### ②生涯学習、地域活動・行政サービス

・行政サービスの要望が強く、日常生活の利便さ・快適さを、生活のゆとりよりも重視している。

・行政サービス窓口については、港北ニュータウン・日吉地区で要望が強い。

・環境問題を反映してか、「不用品のリサイクル施設」「資源ごみ分別収集サービス」の要望が多い。

・「専門的な蔵書を持つ図書館」よりも「豊富な蔵書を持つ図書館」「落ち着いて勉強・読書のできる図書館」の要望が多く、身近で使いやすい地域の図書館を望んでいる。

#### ③公園・スポーツ

・「自然豊かな公園」を望む割合が六割と高い。  
 ・「子供が安心して遊べる広場」「プール」も要望が高い。  
 福祉・医療

・「地域の保健医療サービス」「在宅支援サービス」への要望が約五割と非常に高い。

・「高齢者・生涯者のための入所・通所施設」「子供やお年寄りも使える地域交流施設」への要望も強く、社会的弱者のための施設への

の要望も強く、社会的弱者のための施設への

関心が高い。

・福祉・医療という性格上、「民間の役割に期待」は少なく、行政が対応する施設と考えている人が多いようだ。

#### ⑤アンケートで意見が聞けた

アンケートを行って良い経験をした。区役所は住民の意見が分かっているように思われているが、実際はなかなかできていない。市長への手紙、陳情、区民会議等の広聴手段は、行政にも申す市民の意見が多い。アンケートを行い、大勢の住民の声を聞くことができ、いかに住民が行政に期待していることが多いかが分かった。アンケートでは施設について聞いているが、住民の声を聞くと、箱物を作るだけでは駄目だということが分かった。

#### 三——事業・施策とのつながり

今回の地区カルテ作成は、当初、パソコン使用により画面で見えるようにしようと考えた。環境保全局の横浜市環境情報システム(システム・アイ)を参考にしたが、予算上のこともあり、報告書の形に落ち着いた。前回の地区カルテは、「市民にも身近な自分の住んでいるまちづくりについて考えてもらうこと」をねらいにして有償販売をしたが実際に購入したのは建設・

表-4 市民利用施設に関するアンケート

34

アンケート・シート

**市民利用施設に関するアンケート**

1. 児童福祉について  
 (1) 貴市の児童福祉の施策の現状について、次の項目について評価をお願いします。評価は5段階で行ってください。5が最も高く、1が最も低く、3が中間です。

① 児童福祉の施策の充実  
 ② 児童福祉の施策の普及  
 ③ 児童福祉の施策の質  
 ④ 児童福祉の施策の費用  
 ⑤ 児童福祉の施策の効率  
 ⑥ 児童福祉の施策の透明性  
 ⑦ 児童福祉の施策の公平性  
 ⑧ 児童福祉の施策の持続性  
 ⑨ 児童福祉の施策の柔軟性  
 ⑩ 児童福祉の施策の創造性

⑩ その他

2. 市民利用施設について  
 貴市の市民利用施設について、次の項目について評価をお願いします。評価は5段階で行ってください。5が最も高く、1が最も低く、3が中間です。

① 市民利用施設の充実  
 ② 市民利用施設の普及  
 ③ 市民利用施設の質  
 ④ 市民利用施設の費用  
 ⑤ 市民利用施設の効率  
 ⑥ 市民利用施設の透明性  
 ⑦ 市民利用施設の公平性  
 ⑧ 市民利用施設の持続性  
 ⑨ 市民利用施設の柔軟性  
 ⑩ 市民利用施設の創造性

⑩ その他

**児童福祉施設に関するアンケート**

3. 児童福祉施設について  
 貴市の児童福祉施設について、次の項目について評価をお願いします。評価は5段階で行ってください。5が最も高く、1が最も低く、3が中間です。

① 児童福祉施設の充実  
 ② 児童福祉施設の普及  
 ③ 児童福祉施設の質  
 ④ 児童福祉施設の費用  
 ⑤ 児童福祉施設の効率  
 ⑥ 児童福祉施設の透明性  
 ⑦ 児童福祉施設の公平性  
 ⑧ 児童福祉施設の持続性  
 ⑨ 児童福祉施設の柔軟性  
 ⑩ 児童福祉施設の創造性

⑩ その他

**市民利用施設に関するアンケート**

4. 市民利用施設について  
 貴市の市民利用施設について、次の項目について評価をお願いします。評価は5段階で行ってください。5が最も高く、1が最も低く、3が中間です。

① 市民利用施設の充実  
 ② 市民利用施設の普及  
 ③ 市民利用施設の質  
 ④ 市民利用施設の費用  
 ⑤ 市民利用施設の効率  
 ⑥ 市民利用施設の透明性  
 ⑦ 市民利用施設の公平性  
 ⑧ 市民利用施設の持続性  
 ⑨ 市民利用施設の柔軟性  
 ⑩ 市民利用施設の創造性

⑩ その他

**市民利用施設に関するアンケート**

5. 市民利用施設について  
 貴市の市民利用施設について、次の項目について評価をお願いします。評価は5段階で行ってください。5が最も高く、1が最も低く、3が中間です。

① 市民利用施設の充実  
 ② 市民利用施設の普及  
 ③ 市民利用施設の質  
 ④ 市民利用施設の費用  
 ⑤ 市民利用施設の効率  
 ⑥ 市民利用施設の透明性  
 ⑦ 市民利用施設の公平性  
 ⑧ 市民利用施設の持続性  
 ⑨ 市民利用施設の柔軟性  
 ⑩ 市民利用施設の創造性

⑩ その他

35

アンケート・シート

**市民利用施設に関するアンケート**

6. 市民利用施設について  
 貴市の市民利用施設について、次の項目について評価をお願いします。評価は5段階で行ってください。5が最も高く、1が最も低く、3が中間です。

① 市民利用施設の充実  
 ② 市民利用施設の普及  
 ③ 市民利用施設の質  
 ④ 市民利用施設の費用  
 ⑤ 市民利用施設の効率  
 ⑥ 市民利用施設の透明性  
 ⑦ 市民利用施設の公平性  
 ⑧ 市民利用施設の持続性  
 ⑨ 市民利用施設の柔軟性  
 ⑩ 市民利用施設の創造性

⑩ その他

**市民利用施設に関するアンケート**

7. 市民利用施設について  
 貴市の市民利用施設について、次の項目について評価をお願いします。評価は5段階で行ってください。5が最も高く、1が最も低く、3が中間です。

① 市民利用施設の充実  
 ② 市民利用施設の普及  
 ③ 市民利用施設の質  
 ④ 市民利用施設の費用  
 ⑤ 市民利用施設の効率  
 ⑥ 市民利用施設の透明性  
 ⑦ 市民利用施設の公平性  
 ⑧ 市民利用施設の持続性  
 ⑨ 市民利用施設の柔軟性  
 ⑩ 市民利用施設の創造性

⑩ その他

**市民利用施設に関するアンケート**

8. 市民利用施設について  
 貴市の市民利用施設について、次の項目について評価をお願いします。評価は5段階で行ってください。5が最も高く、1が最も低く、3が中間です。

① 市民利用施設の充実  
 ② 市民利用施設の普及  
 ③ 市民利用施設の質  
 ④ 市民利用施設の費用  
 ⑤ 市民利用施設の効率  
 ⑥ 市民利用施設の透明性  
 ⑦ 市民利用施設の公平性  
 ⑧ 市民利用施設の持続性  
 ⑨ 市民利用施設の柔軟性  
 ⑩ 市民利用施設の創造性

⑩ その他

**市民利用施設に関するアンケート**

9. 市民利用施設について  
 貴市の市民利用施設について、次の項目について評価をお願いします。評価は5段階で行ってください。5が最も高く、1が最も低く、3が中間です。

① 市民利用施設の充実  
 ② 市民利用施設の普及  
 ③ 市民利用施設の質  
 ④ 市民利用施設の費用  
 ⑤ 市民利用施設の効率  
 ⑥ 市民利用施設の透明性  
 ⑦ 市民利用施設の公平性  
 ⑧ 市民利用施設の持続性  
 ⑨ 市民利用施設の柔軟性  
 ⑩ 市民利用施設の創造性

⑩ その他

36

不動産会社等が多く、当初のねらいが十分に果たされていなかった。

そこで今回は、アンケート調査で、市民の意見・要望をふまえ、行政が政策判断できるものとして地区カルテの作成を行った。

市民に身近な施設を取り上げたのも、従来の地区カルテから一歩でることができた。「よこはま二十一世紀プラン」に掲げられている市民利用施設の内容と配置について検討できる基礎データとして活用できた。

今回の成果としては、

- ①バラバラになっている情報を整理することにより、現況と課題について数字等の統計データで裏打ちをすることができたこと。
- ②地域レベルの市民利用施設の内容と配置について、総括的に政策判断できるものができたこと（実際に、ある施設を作る場合は、もっと詳しい分析が必要であるが）である。

#### 四——調査の課題

##### ①——委託会社探しも苦勞

区役所では、日常業務で調査委託をすることは少なく、コンサルタントとの付き合いも少ない。

い。今回の地区カルテ作成に当たっても、以前に仕事をお願いした業者に委託することにした。どこにどのような業者があるのか、実績はどうかなどの資料が乏しく、判断材料が殆ど無いのが実情である。行政内部に相談部門があればと思う。

##### ②——アンケート作成で資料探し

今回の地区カルテ作成に当たって一番苦勞したのが、アンケート作りであった。アンケート作成の経験もなく、項目・回答作りに三々四々月もかかった。特にアンケート作成には、データ収集が欠かせず、担当者一人があちこち走り回って行った。その後のチェックも一苦勞であった。

アンケートは手軽で良くないとの意見もあるが、実際には大変手間がかかる。標本数を多く設定するなど工夫をしなければ、現状では有効な手段だと思われる。

##### ③——情報不足

委託調査で一番苦勞したのが、情報の不足であった。調査会社を探すのも、データ収集するにも、アンケートを作るにも、とにかく情報が

不足していた。

行政内部の情報にしても、どこに何があるか分からない。まとまっていないので、先ず資料リストを作るのが最初の仕事であった。たまたま調整係にみる前の職場が統計選挙係であったので、かなりの資料の在りかが分かったが、そうでなければ大変な作業になったと思う。

市役所には市民情報センターがあり、かなりの資料がそろっているが、残念ながら区役所にはそうした機能がない。区役所にも同じ機能が必要だと思う。ただ市民情報センターにしても図面は殆どおいていないので、別に探すようになってしまう。行政情報利用システムの稼働が平成八年といわれているが、早いスタートが望まれる。

##### ④——総合相談窓口を

以上のことをトータルに考えると、調査についての総合相談窓口があれば、ある程度解決すると思う。業者や調査方法、データなど相談出来れば区役所にとっては大変ありがたい。

△港北区役所区政推進課調整係▽